

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	情報処理演習	
科目基礎情報							
科目番号	0099			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	自作プリント						
担当教員	鈴木 徹						
到達目標							
コンピュータの基本動作を理解し、データの集積や分析方法、統計関数の利用法を身につける。また、プレゼンテーションのための簡単なプログラムの作成技術や画像などを活用した文書の作成方法を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	コンピュータの基本動作を理解し、操作できる。			コンピュータの基本動作を理解している。		コンピュータの基本動作が理解できない。	
評価項目2	データベースや統計関数を利用し、分析できる。			データベースや統計関数を利用できる。		データベースや統計関数を使うことが出来ない。	
評価項目3	簡単なプログラムを作成し、グラフや画像などを組み合わせた総合的な文書の作成やプレゼンテーションが出来る。			簡単なプログラムを作成し、グラフや画像などを組み合わせた基本的な文書の作成やプレゼンテーションが出来る。		簡単なプログラムを作成やグラフなどを組み合わせた文書の作成が出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	コンピュータを実践的に使用し、論文や報告書に有効活用できる能力を習得する。						
授業の進め方・方法	関連のある参考書を適宜紹介しながら、自作のプリントを用いて講義を進める。実際に文書などを作成して提出させる。						
注意点	提出物は期日までに提出すること。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	コンピュータの基礎 (1回目)				
		2週	コンピュータの基礎 (2回目)				
		3週	コンピュータの基礎 (3回目)		コンピュータの基本動作が理解できる。全般的な操作ができる。		
		4週	集計・計算の応用 (1回目)				
		5週	集計・計算の応用 (2回目)		データベース機能を理解し、データの集計・分析ができる。		
		6週	統計分析 (1回目)				
		7週	統計分析 (2回目)				
		8週	統計分析 (3回目)		統計関数を理解し、利用できる。		
	2ndQ	9週	プレゼンテーション		プレゼンテーションの概要が理解できる。		
		10週	プログラミング (1回目)				
		11週	プログラミング (2回目)				
		12週	プログラミング (3回目)				
		13週	プログラミング (4回目)		Visual Basic の概要を理解し、簡単なプログラムが作成できる。		
		14週	文書作成 (1回目)				
		15週	文書作成 (2回目)		数値データ、グラフ、画像などを統合した文書が作成できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	提出物	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	15	10	15	0	0	100
基礎的能力	40	5	5	15	0	0	65
専門的能力	15	5	5	0	0	0	25
分野横断的能力	5	5	0	0	0	0	10